



菊池 美也 議員
(政和クラブ)

一問一答方式

は、互いを思いやる心や相互扶助の意識が強い。様々な活動を通じて育まれた子どもたちの「福祉のこころ」が、地域の思いやりにも繋がっていると感じている。

※共生社会ホストタウンとは・・・
パラリンピアンとの交流をきっかけに共生社会の実現のための、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取り組みを実施するホストタウン。

福祉を切り口としたまちづくり

問.....

わらすっこの「福祉のこころ」を醸成するために、どのような機会を提供し、その効果をどう捉えているか。

設の訪問、花巻清風支援学校遠野分教室の子ども達との日常的な交流などを通じ、「困っている人を助けたい」「誰かの役に立ちたい」といった意識が生まれている。

答(教育長).....

道徳の授業で、思いやりや親切な行動の意義、相手の立場になって考えることの大切さを学んでいる。また、障がい者や高齢者の施

平成29年4月に実施した調査では「地域でのボランティア活動への参加」「人が困っているときは進んで助けている」の項目で、全国平均を上回る結果であった。遠野の子ども

問.....

※共生社会ホストタウンの登録を、今後のまちづくりにどう活かすのか。

答(市長).....

「違いを知る」「違いを尊重する」「違いと絆(つな)がる」取り組みを進め、思いやりと心づかいの見えるまちづくりを目指す動機づけにする。共生社会を実現しなければならぬ。遠野駅舎や中心市街地について、ユニバーサルデザインの理念を活かした整備をする。



「理解し、支え合い、共に生きる」福祉意識の更なる醸成が必要です。

農福連携の可能性

問.....

就労機会を求める福祉サイドと、労働力を求める農業サイドが同じ地域にいる。双方のニーズのマッチングが、農業の維持・地域活性化につながるのではないか。

答(市長).....

市社会福祉協議会と連携し、障がい者の自立支援と就労支援に取り組んでいる。新たに今年度は、農福連携の調査研究に着手した。農業経営者と福祉的支援を必要とする人との互いの理解を促し、不安を取り除くことが農福連携の推進には重要である。コーディネートとしての活躍を社協に期待し、市も可能な限り支援をする。



細川 幸男 議員
(無会派)

一括方式

学校教育における人工知能の対策は

問.....

人工知能が進化・発展している社会で、子ども達の生きる力を伸ばしていくための対策等を伺う。

答(教育長).....

人工知能については、年々進化のスピードが加速し、最近では、人工知能による自動運転機能を搭載した自動車の開発や、医療、健

康面で様々な実証実験が行われている。人工知能が私たちの生活にとって身近なものになり、便利な未来が予想される一方で、「今後20年程度で、今ある半数近くの仕事が自動化され、人間の職業を奪うのではないか」という予測が論じられた。

現在、本市では、小中が連携して「主体的、対話的で深い学び」を目指した授業の改善に取り組んでいる。これ

問.....

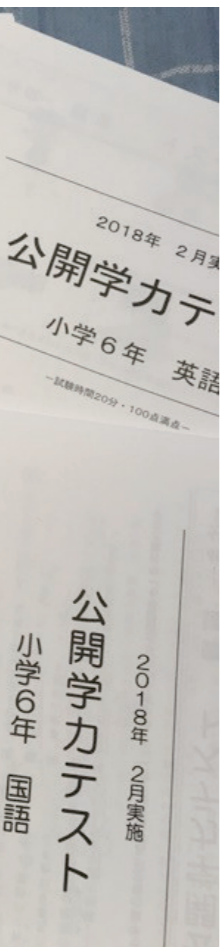
は、新学習指導要領が示す方向性に沿ったものであり、自信を持って進めていきたいと考えている。

問.....

遠野市でも実施している全国学力学習状況調査の目的とその成果は。

答(教育長).....

調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童



徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証して、改善を図ることにある。昨年の児童生徒の調査結果を分析したところ、基礎的・基本的な習得については概ね良好な状況にある。本市では、「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、「遠野市授業づくりスタンダード」を作成している。子ども達には、私たちが今までに経験したことが無い未来の時代を、身につけた資質・能力を活かし、自分で考え判断して行動できる能力と、自ら他者と協力し、助け合う能力を身につけさせ、次世代を生き抜く力を育てていきたいと考えている。